

高純度バイオディーゼル燃料 ReESEL(リーゼル)

大西衛生では、2023年から資源の有効活用、エネルギーの地産地消として、廃食用油を活用した高純度バイオディーゼル燃料「ReESEL(リーゼル)」の製造事業を開始しました。

本社を置く京丹後市では、脱炭素型地域社会(CO₂排出実質ゼロ社会)の構築と気候変動への適応に向けて2020年12月に『2050年ゼロ・カーボンシティ宣言』を行い、2021年5月に国から『SDGs未来都市』に認定されました。大西衛生株式会社は高純度バイオディーゼル燃料事業を通して、京丹後市の目指す脱炭素型地域社会に貢献します。

Ohnishi Group

ReESEL 京都
Recycle Ester Diesel fuel

大西衛生は総合環境事業の先駆者として、
人・自然の共存する関係を創造したいと願っています。



まもる・めぐる・つなぐ
大西衛生株式会社
<https://ohnishi-eco.co.jp/>

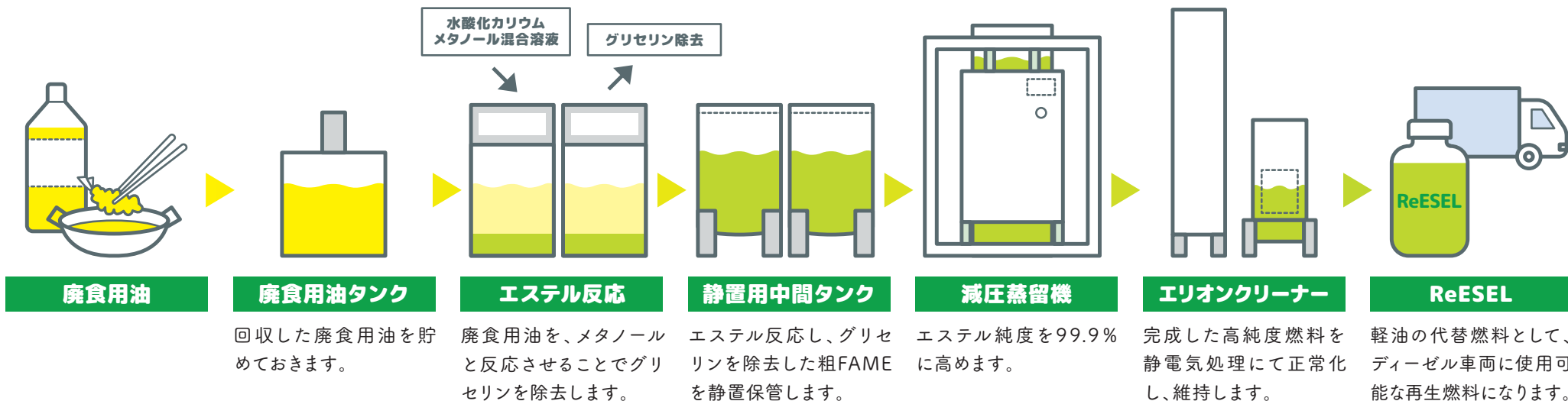
〒627-0211 京都府京丹後市丹後町大山1381
Tel.0772-75-0189 Fax.0772-75-1810
office@ohnishi-eco.co.jp



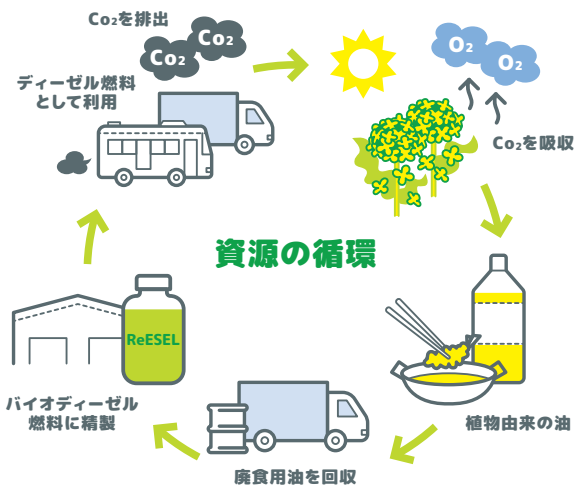
フリーダイヤル 0120-002418



ReESEL(リーゼル)ができるまで



バイオディーゼル燃料とは？



バイオディーゼル燃料とは、家庭や飲食店等から回収された廃食用油(植物性油)を、メタノールと反応させることでグリセリンを除去し、粘性や引火点を低くして燃料として使用できるようにしたものです。

社会貢献エネルギー

ReESEL(リーゼル)の5つの特長

植物由来の再生可能エネルギー

植物由来のエネルギーであるため、温室効果ガスを排出せず、国産が可能です。エネルギー安全保障や低炭素社会の実現に大きく貢献します。

CO₂排出量が実質ゼロカウント

主原料である使用済食用油は、地球上のCO₂を吸収して育った植物由来であるため、燃焼して排出されるCO₂は実質ゼロカウントになります。



黒煙と硫黄酸化物の排出を削減

化石由来でないことに加え、高い製造技術により黒煙や硫黄酸化物等の排出を大幅に削減することができ、地球環境にも優しい。



廃食用油から複数のエネルギー資源を生産可能

製造する過程で、グリセリン燃料やA重油燃料も製造することができます。これらはグリセリン洗剤や農業用・漁業用のエネルギーとして広く利用することができます。



地域のでエネルギー生産が可能

家庭や飲食店等の廃食用油を回収することで地域との連携を図れます。身近なエネルギーは子どもたちへの環境教育にも貢献します。